

# 団 長 会 記 録

1 開催日時 令和元年11月18日(月) 10:52~11:01

2 開催場所 新庁舎8階 議会中会議室

## 3 出席者

### (1) 出席議員

議長 梅沢裕之、副議長 渡辺ひとし、自民団長 しきだ博昭、立民団長 松崎淳、  
公明団長 佐々木正行、民主団長 近藤大輔、県政団長 相原高広、共産団長 井坂新哉

### (2) 議会局出席者

局長 和泉雅幸、副局長兼総務課長 谷川純一、管理担当課長兼総務課副課長 小野関浩人、  
経理課長 奥澤陽一、参事兼議事課長 霜尾克彦、政策調査課長 田中一朗

## 4 議 題

### (1) 令和2年度 議会費当初予算要求の概要について

議会局から、資料1により令和2年度 議会費当初予算要求の概要について説明があった。併せて、予算調整の進捗に伴い予算額が変更される場合があるので、ご承知おきいただきたい旨の説明があった。

### (2) 令和2年 年始行事予定について

議会局から、資料2により令和2年1月10日(金)開催の年始行事についての説明があり、団長  
会終了後、資料3により全議員に周知する旨の説明があった。

### (3) 安否確認メールについて

議会局から、資料4により次のとおり説明があった。

ア 10月12日の台風19号の際には、運用として同日19:45の第一報から、10月17日17:10ま  
で計7回、議員に県災害対策本部会議で報告された県内被害状況等を中心に情報伝達を行い、  
11月15日には県災害対策本部解散、県災害対策支援本部への移行を連絡したこと。

イ 安否確認メールは、文字数や資料の添付に制限があるが、議員の安否確認に加え、情報伝達  
にも有効なことから、今回の台風のような地震以外の有事の際にも、積極的に活用したいと考  
えること。

ウ 安否確認メールの着信確認と、操作に慣れていただくことを目的として、次のとおりテスト  
配信を定期的実施させていただきたいこと。

(ア) 配信対象者：安否確認システムにメールアドレスを登録されている議員の方

(イ) 定期配信日：毎年度、偶数月の初日、初日が土日・祝日の場合は最初の開庁日

### (4) その他

#### 見舞金について

議長から、台風19号の被害に対し、長崎県議会から本県議会あてにお見舞金をいただいたこと  
の報告があった。

このお見舞金については、いただいた趣旨を考慮し、「令和元年台風第19号神奈川県災害義援  
金」として、日本赤十字社 神奈川県支部へ集約し、市町村を通じて被災された方々に届けること

とするので、ご承知おき願いたい旨の発言があった。

なお、大阪府議会、和歌山県議会及び、徳島県議会から、お見舞い状をいただいたことも併せて報告があった。

### **モバイルPCのセキュリティワイヤーの配付について**

控室の改修工事の終了にあわせて、モバイル PC 用のセキュリティワイヤーを控室の机上に配付したことの説明が、次のとおり議会局からあった。

ア セキュリティワイヤーは、県職員にも配付されているものであり、貴重なモバイルPCの、万が一の盗難を防止するためのものであり、情報セキュリティポリシーに基づき行うものであること。

イ 鍵については、紛失しないようご留意の上、ご自身で管理いただきたいこと。

以上